

春節における防疫対策の徹底のお願い

＜海外悪性伝染病の発生状況＞

◎口蹄疫(O型、A型) 東アジア地域で続発

特に韓国(O型)

- ・1月5日 新たに豚2農場、牛1農場で口蹄疫と確定
- ・昨年12月以降、35件の発生(豚34件、牛1件)

○アフリカ豚コレラ 2006年以降、欧州・ロシアで発生続く

○水泡性口炎 昨年5月 米国で発生

このような状況の中、

アジア地域での人や物の移動が活発化する春節(2月19日)を迎えます

口蹄疫ウイルス等の侵入リスクが高い状態です 飼養管理衛生基準の再確認をお願いします

◎農場への侵入防止対策

- ・関係者以外の農場への立入制限
- ・人および車両の消毒の徹底

◎発生国への渡航自粛

やむをえず渡航する場合は

- ・家畜飼養施設に立ち入らない
- ・肉製品等を持ち帰らない
- ・帰国の際は動物検疫所に立寄る
- ・帰国後1週間は衛生管理区域に立ち入らない
- ・海外で使用した衣服や靴をもちこまない

◎海外での発生状況の把握(農水省ホームページでも確認できます)

http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/index.html

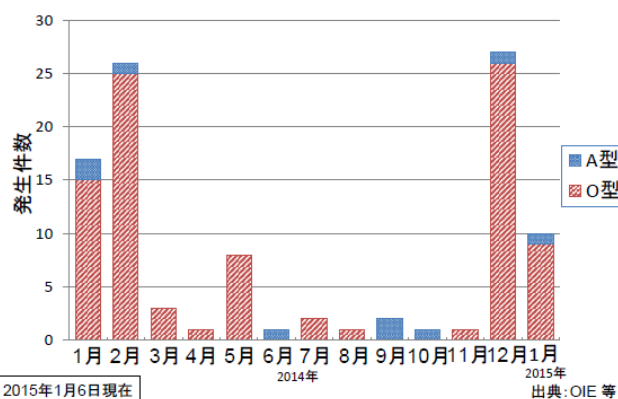
◎異常を認めた場合には、早く通報 土日・祝日も通報を受け付けます

0574-25-3111

守衛に緊急事例である旨を伝えると家保職員につながります

東アジア地域*における口蹄疫の月別発生件数の推移(2014年～)

(*中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、ロシア(極東ロシア・サバイカリエ地方)、モンゴル、カザフスタン(東カザフスタン))



一貫飼育豚農場(1800頭飼養)

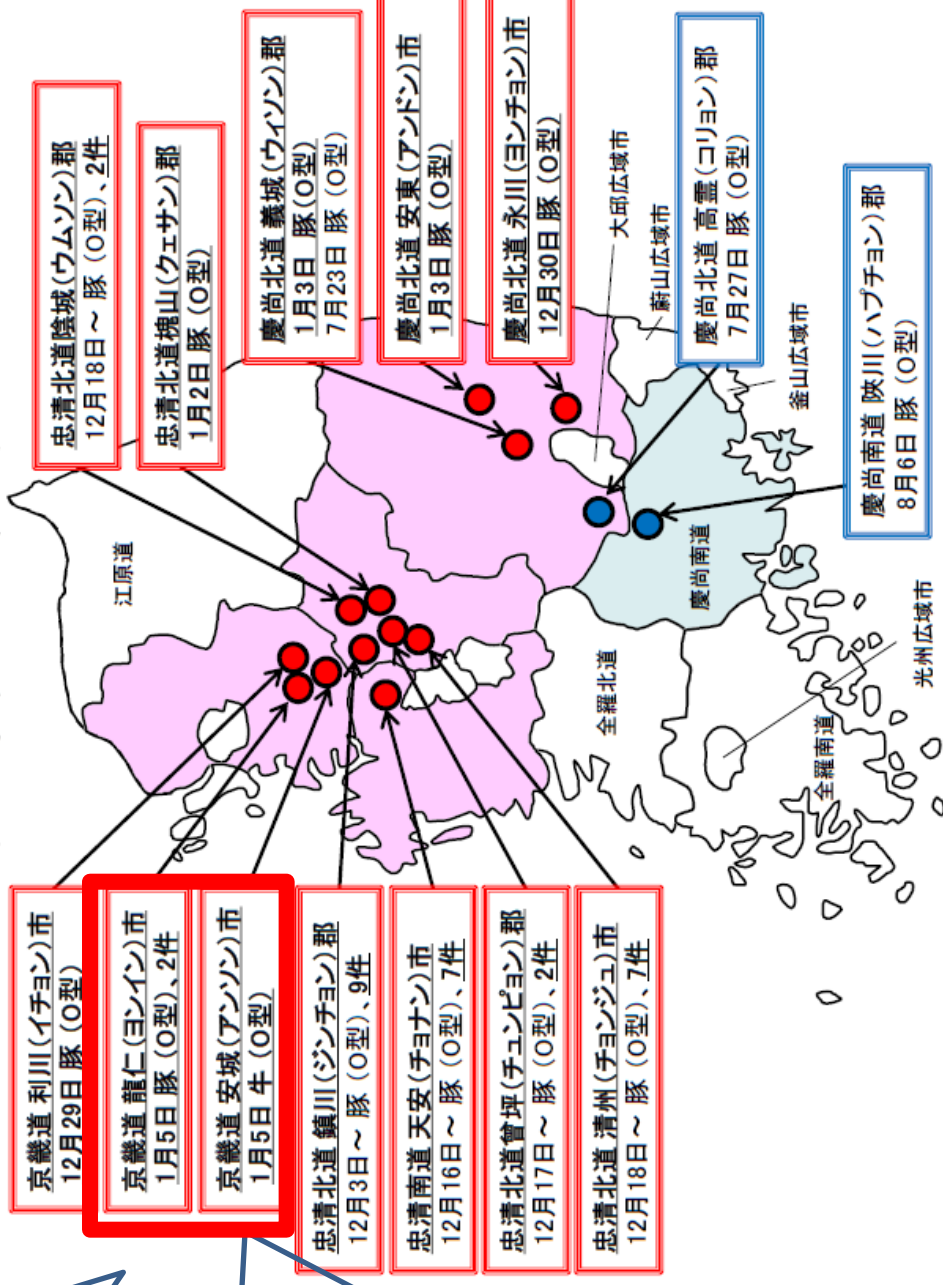
肥育豚農場(590頭飼養)

牛(47頭飼養)

- ・ワクチン接種農場
- ・47頭中1頭だけ臨床症状を示した
- ・免疫がうまく形成されなかつた個体で限定的に発生したと推定
(当該農場の抗体形成率94%)

2015年1月6日10時40分現在

韓国における口蹄疫の発生状況 (2014年7月23日～、O型)



●: 発生地(2014年7～8月)

●: 発生地(2014年12月～)

※ 日付は申告日

※ 出典: 韓国農林畜産食品部